

## 共同研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院放射線医学分野では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

### [研究課題名]

肋骨骨折の CT 診断における人工知能技術の臨床的有用性の検討

### [研究の背景と目的]

本研究は、東京医科大学放射線医学分野と富士フィルム株式会社との共同研究で、肋骨骨折の CT 診断における人工知能技術の臨床的有用性を明らかにすることが目的です。

現在の CT では薄いスライスで広範囲の領域を撮影することが多く、診断読影医は広い領域を注意深く診断する必要があります。その中で骨折は読影に時間がかかり労力を要します。最近、人工知能を用いた画像診断技術が進歩してきており、富士フィルム株式会社もその開発を進めています。東京医科大学病院では外傷の患者が多く、骨折を CT で診断することも多いですが、診断読影医の見逃し防止や労力軽減のためにも骨折の CT 診断における人工知能技術の開発が望まれます。そこで、東京医科大学病院において、富士フィルム株式会社が開発した肋骨骨折の CT 診断における人工知能技術の臨床的有用性を評価することとなりました。東京医科大学から富士フィルム株式会社に肋骨骨折を含む過去の CT 画像データ、読影レポートと読影診断情報を提供します。富士フィルム株式会社が開発した肋骨骨折の CT 診断における人工知能技術がどの程度有用であるか検証するために、提供した画像データと診断情報を用いて東京医科大学で読影実験を行い、その有用性を明らかにします。

### [研究の方法]

対象となる方

肋骨骨折の患者さんと、2010年1月1日から2019年11月30日の間にCT検査を受けた方

研究期間

倫理審査承認日から 2022 年 3 月 31 日

利用する検体やカルテ情報

患者さんの CT 画像データ、診断情報(どのようなタイプの骨折であるか)

検体や情報の管理

本研究では、東京医科大学から富士フイルムに必要な画像データと情報を送付します。研究で得られた情報と個人識別情報とを連結された形では、保管しません。研究番号と対応する診療録 ID との対応表は情報管理者が管理します。得られた画像データ・情報については、研究の中止または終了後 5 年が経過した日までの間管理・保存します。情報保管の管理責任者は、東京医科大学放射線医学分野 齋藤和博とします。

#### [研究組織]

研究代表者(研究の全体の責任者):

齋藤和博 東京医科大学放射線医学分野 主任教授

その他の共同研究機関:

榎本潤 富士フイルム株式会社

#### [個人情報の取扱い]

研究実施に係る情報等を取扱う際は、匿名化された情報(どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)とし、研究対象者の個人情報とは無関係の研究番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。情報等を研究事務局等の関連機関に送付する場合はこの番号を使用し、研究対象者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。対応表の管理にあたっては、ネットワークから切り離されたコンピュータに保存、ファイルにはパスワードを設定し、情報管理者が管理します。研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報等を使用しません。

#### [問い合わせ先]

東京都新宿区西新宿 6-7-1

東京医科大学病院放射線医学分野

齋藤和博 主任教授

TEL: 03-3342-6111

メールアドレス saito-k@tokyo-med.ac.jp